



発行年月：令和元年9月

福井県越前市秘書広報課
〒915-8530 福井県越前市府中一丁目13番7号
TEL／0778-22-3000(代) FAX／0778-24-3307
<http://www.city.echizen.lg.jp/>



表紙は
かこさとし氏の
作品「未来への行進」
越前市出身のかこさとし
氏が描く作品は、世代
を超えて子どもたちに愛
され続けています。

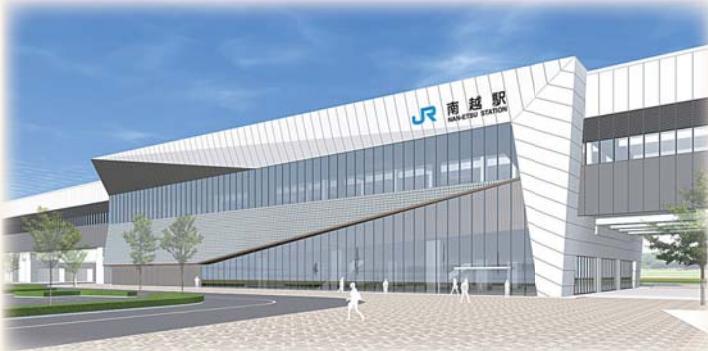
「元気な自立都市 越前」の 創造を目指して

越前市は、福井県の中央部に位置し、平成17年10月1日に旧武生市と旧今立町が合併して誕生しました。しかし、本市の歴史は大変古く、「大化の革新」の頃に越前の国の国府が置かれ、以来、北陸地方の政治・経済・文化の中心地として栄えてまいりました。

平安時代には、「源氏物語」の作者である紫式部が生涯でただ一度京の都を離れ、多感な少女時代を過ごした地であります。産業面では、越前和紙や越前打刃物、越前筆筒をはじめとする伝統産業から、電子部品などの先端技術産業に至るまで幅広い産業が集積し、製造品出荷額等が福井県内第一位の「モノづくりのまち」として発展を続けています。

また、豊かな緑や清らかな水など美しい自然環境を誇る本市は、コウノトリをシンボルに「生きもの共生する越前市」を目指して、里地里山の保全再生や環境調和型農業の推進を図っており、平成27年9月に「環境・文化創造都市宣言」を行いました。

現在、「半世紀に一度のまちづくりに取り組んでおり、再整備を終えた武生中央公園では、毎年秋に「たけふ菊人形」が開かれています。令和3年春に本庁舎の整備が完了し、令和5年春には市内に北陸新幹線南越駅（仮称）が開業するなど「半世紀に一度のまちづくり」を好機と捉え、市民と協働のまちづくりを推進しています。



北陸新幹線南越駅（仮称）完成イメージ（令和5年春開業予定）



市役所本庁舎および庁舎前ひろば完成イメージ（令和3年春完成）

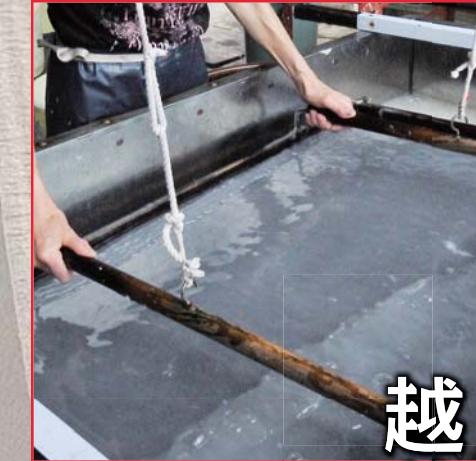


伝統を守りつつ
最先端へ

挑戦!

ECHIZENWASHI

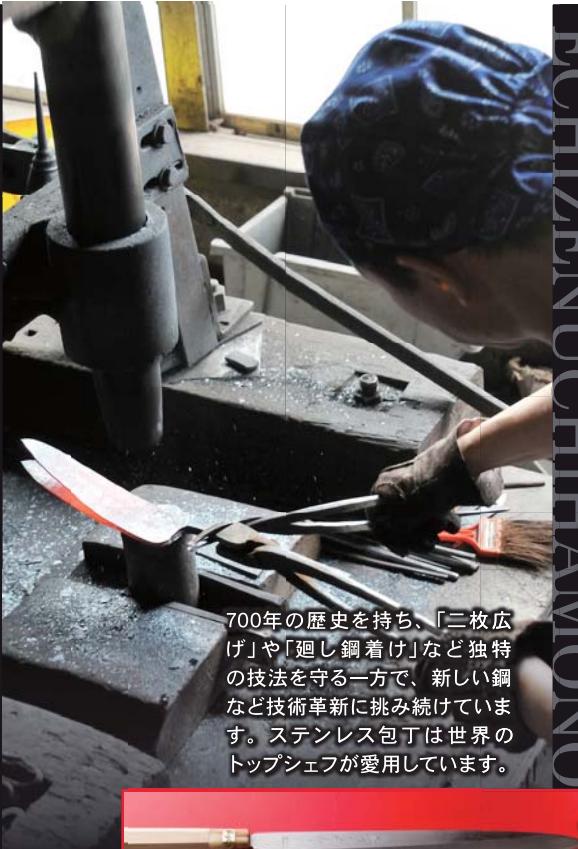
モノづくりのまちとして栄えてきた越前市。
福井県内で認定されている国の伝統的工芸品7つの中、
実に3つが越前市にあります。



越前和紙

1500年の歴史を誇る福井県内屈指の伝統産業。横山大観や平山郁夫をはじめ、多くの芸術家に愛用され、日本画用紙としてもその名を知られています。「越前奉書」と「越前鳥の子紙」は、国の重要無形文化財に指定されています。

伝統産業 越前打刃物



700年の歴史を持ち、「三枚広げ」や「廻し鋼着け」など独特の技法を守る一方で、新しい鋼など技術革新に挑み続けています。ステンレス包丁は世界のトップシェフが愛用しています。



越前箪笥 ECHIZENTANSU

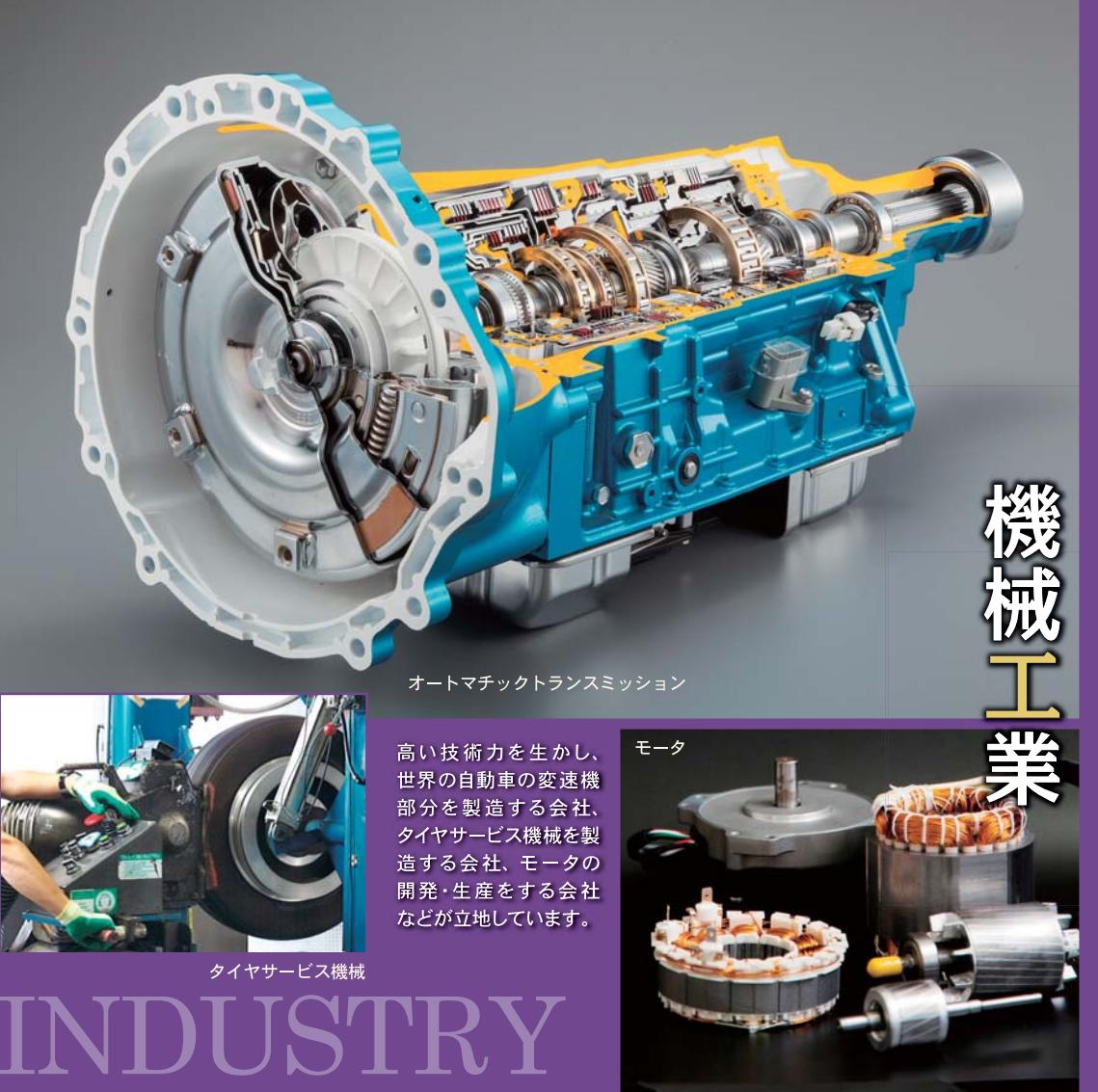


ケヤキやキリなどの無垢材を指物技術で加工した後、漆塗りを施し、鉄製金具で装飾する重厚なつくりが特徴です。「タンス町通り」には、指物を扱う間口の広い工房兼店舗が軒を連ねています。



先端産業

モノづくりのまち越前市では、歴史と伝統に根差した伝統産業から先端産業まで幅広い産業が集積しています。特に、最先端技術を駆使して製造される電子・自動車・家電部品産業やニットアパレル産業が盛んで、福井県内第一位の製造品出荷額等を誇っています。北陸一のモノづくりのまちを目指し、更なる発展を図っています。



高い技術力を生かし、世界の自動車の変速機部分を製造する会社、タイヤサービス機械を製造する会社、モータの開発・生産をする会社などが立地しています。

電子部品

世界でも最先端の技術力を生かし、積層セラミックコンデンサを製造する会社やレアアースマグネットなどを製造する会社、オーディオ機器を製造する会社などが立地しています。



ELECTRON

INDUSTRY

越前に育まれた文化人

奥深い歴史を誇る越前市。古代から現代まで、歴史上の文化人を多く輩出しています。ゆかりのスポットは市民の憩いの場として利用されています。

ゆかりの
スポット



花筐公園

花筐公園には、繼体天皇ゆかりの薄墨桜や皇子ヶ池があります。春には約1000本の桜、秋には山を染める紅葉が美しく、たくさん的人が訪れます。

越前市粟田部町17-20 花筐公民館
0778-42-0361

繼体大王

第26代天皇



「日本書紀」によれば、繼体天皇は即位前、男大迹王と呼ばれていました。男大迹王と照日の前の愛の物語、謡曲「花筐」の舞台になった越前市には、男大迹王にまつわる伝説がたくさん残されています。



紫式部公園

紫式部をしのんで造られた紫式部公園は、金色に輝く紫式部像がシンボルで、全国で唯一の寝殿造庭園には、雅やかな雰囲気が漂っています。

越前市東千福町20 紫式部公園休憩所藤波亭
0778-22-7133

紫式部

源氏物語の作者

紫式部は、越前国司に任じられた父とともに、生涯でただ一度、都を離れ、越前市で過ごしました。この地での体験が源氏物語の執筆に大きな影響を与えたと言われています。



秋山徳藏

天皇の料理番

明治から昭和時代の日本を代表する料理人。大正期から昭和期にかけて宮内庁で主厨長を務めました。日本における西洋料理の普及にも大きな足跡を残しました。



「ちひろの生まれた家」記念館
ちひろの母、文江が暮らしていた大正時代の趣ある記念館。町屋風の館内では、当時を垣間見る板壁や箱階段、居間、井戸などを見ることができます。ギャラリーでは、企画展を定期的に開催しています。

越前市天王町4-14 ☎0778-66-7112
開館時間：午前10時～午後4時
休館日：毎週火曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始
入館料：一般300円（高校生以下無料）



いわさきちひろ

ゆかりのスポット

独特の水彩画の技法で、生命感あふれる子ども像を多く描いた絵本画家いわさきちひろは、越前市で生まれました。優しく、淡い色づかいが印象的な絵は、今多くのファンに愛されています。

子どもの幸せと平和を願う絵本画家



てんぐちゃん広場
令和元年11月オープンの「てんぐちゃん広場」は、(有)加古総合研究所監修のもと整備された全天候型の屋内広場で、雨天時にも思い切り体を動かして遊べます。親子の触れ合いや昔遊びを通して多世代が交流できる場です。

越前市府中一丁目11-2 市民プラザたけふ内
☎0778-22-3628
開館時間：午前9時半～午後5時半
休館日：年末年始
入場料：無料



越前市高瀬二丁目7-124 武生中央公園内
☎0778-42-7530
入場料：無料

かこさとし ふるさと絵本館「砧」

国内外の人気作家の絵本、大型絵本、紙芝居を5千冊以上揃えるほか、かこさとし氏が描いた「絵本のものとの絵」などを展示しています。



越前市高瀬一丁目14-7 ☎0778-21-2019
開館時間：午前10時～午後6時
休館日：毎週火曜日、祝日の翌日、年末年始
入館料：無料

だるまちゃん広場

かこさとし氏監修のもと整備された「だるまちゃん広場」には、子どもたちの創造力や探求心を育みたいというかこさとし氏の願いが込められています。『からすのパンやさん』をモチーフにした大型複合遊具や『だるまちゃんとかみなりちゃん』をモチーフにしたトランポリン遊具、『宇宙』をモチーフにした平面噴水などがあります。



日本を代表する絵本作家。「だるまちゃん」シリーズや『からすのパンやさん』など600点に及ぶ作品を発表しています。大人から子どもまで、心がほっこり温かくなる作品は、今多くの人に愛されています。



ふるさとをこよなく愛す絵本作家
かこさとし

コウノトリが舞う 里づくり



コウノトリをシンボルに「生きものと共生する越前市」を目指して、平成22年度に「コウノトリが舞う里づくり構想」を策定しました。里地里山の保全活動、環境調和型農業の推進と農産物のブランド化、学びあいと交流の3つの方針のもと、市民一丸となつて構想の実現を図っています。

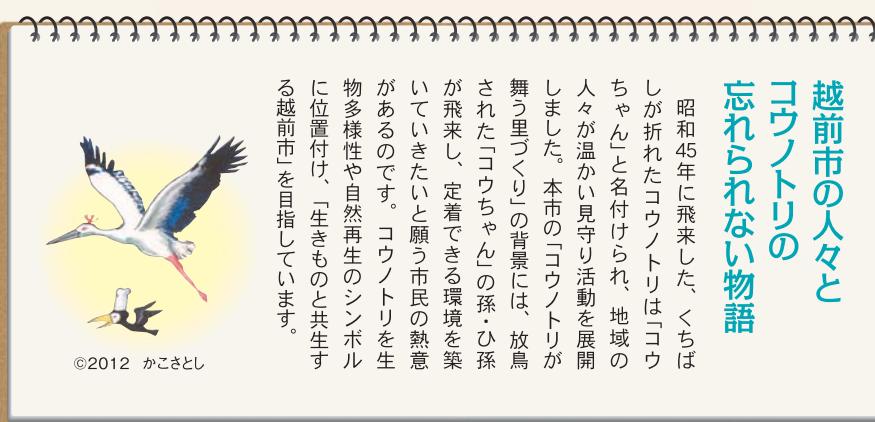
学びあいと交流

子どもたちが自然や生きものに触れる機会を創出するため、身近な川や山、田んぼでの自然体験や農業体験などの自然環境学習を推進するとともに、食の安全安心と地域農業を守るために、生産者と消費者が食と農のつながりについて、理解を深める食育の取り組みを推進しています。



環境調和型農業の推進と農産物のブランド化

本市は環境にやさしい農業の普及を推進しており、「コウノトリ呼び戻す農法米」をはじめとする、農薬や化学合成肥料の使用を抑えた福井県特別栽培米の本市の作付面積は、県全体の約4割を占めています。また、平成24年度より市内の小中学校の学校給食に特別栽培米を導入し、子どもたちへの安全安心な食の提供や食育に努めています。



読書のまち

福井県内の自治体で初めて、平成25年3月に「読書のまち宣言」を行いました。宣言を機に、市民と協働して、読書のまちづくりを推進しています。



源氏物語アカデミー

昭和63年から始まり、全国の愛好家が「源氏物語」と「紫式部」をさまざまな角度から探究しています。



武生国際音楽祭

平成2年から始まり、作曲家の細川俊夫氏を音楽監督に迎え、世界の音楽家が8日間にわたって演奏を行います。



夢ある子どもの育成 「夢の教室」

平成21年度に日本サッカー協会と協定を締結し、毎年、全小・中学校で「夢の教室」を実施しています。

同協会から派遣されたアスリートが「夢先生」として、夢を持つことの素晴らしさや努力することの大切さを児童や生徒に伝えています。



歳時記



市内では、国の重要無形民俗文化財の「越前万歳」や継体天皇の即位を祝う「蓬萊祀」はじめ、「式部とふしまつり」「神と紙のまつり」「あじまの万葉まつり」など、歴史や文化を象徴する行事が数多く開催されています。

昭和27年に始まった「たけふ菊人形」は、北陸の秋の風物詩として毎年多くの人がで賑わっています。

近年は、「越前市三大グルメ」として「越前おろしそば」「ボルガライス」「武生駅前中華そば」が好評を博しています。

1月（睦月）

- 1日 越前打刀物 古式鍛錬
新春万歳初舞

- 3日 新春奉納試し切り大会

- 上旬 越前和紙漉き初め式

- 新春初射会

- 中旬 左義長祭

2月（如月）

- 3日 節分会・豆まき式
蓬萊祀

- 11日 惣田正月十七日講（ごぼう講）

3月（弥生）

- 上旬 はながたみまつり
太陽の広場 桜まつり

- 18日 ぼうき祭り

4月（卯月）

- 3日 式部とふしまつり
あじまの万葉まつり

- 3～4日 神と紙のまつり

5月（皇月）

- 3日 式部とふしまつり
茅の輪くぐり

- 3～4日 あじまの万葉まつり

6月（水無月）

- 1日 茅の輪くぐり

- 下旬 日野山まつり

7月（文月）

- 1日 茅の輪くぐり

- 下旬 千年未来工藝祭

8月（葉月）

- 上旬 武生国際音楽祭

- 中旬 サマーフェスティバル

- 下旬 越前モノづくりフェスタ

9月（長月）

- 上旬 たけふ菊人形

- 12日 堂の餅

10月（神無月）

- 上旬 だるまちやん広場
イルミネーション

- 中旬 もみじまつり
まるごと食の感謝祭

11月（霜月）

- 3日 菊花マラソン

- 上旬 だるまちやん広場
イルミネーション

12月（師走）